

認定番号：144 サポーター名：鹿島建設株式会社

- ▶実施内容の分類：（1）企業等のWeb ページ、SNS、広報誌、ポスター等への情報掲載
（4）貯留施設の設置など自らの流域治水に資する取組

取組実績

- [サステナビリティニュース](https://www.kajima.co.jp/sustainability/sustainability_topics/2025.html#topics_2025_06)“国土交通省「流域治水オフィシャルサポーター」に認定”で流域治水に資する様々な取組み紹介
https://www.kajima.co.jp/sustainability/sustainability_topics/2025.html#topics_2025_06

【紹介技術】

- 森林管理の高度化（鹿島グループの森林）
- 新潟県十日町市の棚田における、スマート農業技術を活用した、雨水貯留と水循環健全化など水資源の保全への取組み
- 緑化技術を活用した雨水利用技術
- 「水災害トータルエンジニアリングサービス」の提供
同サービスによる対策工事を自社技術研究所にて完了

国土交通省「流域治水オフィシャルサポーター」に認定

鹿島は、このたび、国土交通省「流域治水オフィシャルサポーター」に認定されました。

「流域治水」は、堤防の整備、ダムの建設・再生などの対策とともに、集水域から氾濫域にわたる流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う考え方を。

同サポーター制度は、激甚化・頻発化する水災害から国民の生命と暮らしを守るため、流域治水に取り組む企業を広く周知し、その活動促進を支援することを目的に、国土交通省が創設したものです。



当社は治水に関連する土木構造物の施工を担うほか、流域治水に資する様々な取組みを展開しています。主な取組みは以下の通りです。

- ・森林管理の高度化
鹿島グループでは全国に約5,500haの社有林を所有し、それぞれの特徴を捉えた維持管理を続けており^{※1}、デジタル技術を用いて水源遊費機能の向上効果を評価する技術開発を行っています。（国土交通省「グリーンインフラ創出促進事業」に認定）
- ・新潟県十日町市の棚田における、スマート農業技術を活用した、雨水貯留と水循環健全化など水資源の保全への取組み
- ・緑化技術を活用した雨水利用技術^{※2}の提供
- ・「水災害トータルエンジニアリングサービス」^{※3}の提供

また、ダム現場をはじめ流域治水に資する建設工事では、パンフレットなどへ「流域治水」のロゴを掲載し、PR活動も展開していく予定です。今後も当社は、流域治水の推進に積極的に取り組んでまいります。

※1 特設ページ 鹿島グループの森林
<https://www.kajima.co.jp/sustainability/forest/> #

※2 プレスリリース 生物多様性や雨水の貯留・浸透に貢献する総合的なソリューションを提供
<https://www.kajima.co.jp/news/press/202301/31a1-j.htm> #

※3 プレスリリース 「水災害トータルエンジニアリングサービス」による対策工事を自社技術研究所にて完了
<https://www.kajima.co.jp/news/press/202506/11a1-j.htm> #

認定番号：144 サポーター名：鹿島建設株式会社

- ▶実施内容の分類： (2) 流域治水に関する広報資料の配布・掲示、アナウンス等
 (3) 各種イベント、セミナー、学会、講座、研修等での紹介
 (4) 貯留施設の設置など自らの流域治水に資する取組

取組実績

- [建設技術展2025関東](#)において、流域治水をテーマにした技術展示を実施
- 上記展示技術をベースに、[流域治水オフィシャルサポーター交流会](#)においてポスター展示に参加

【紹介技術】

- 1000年先を見据えた森林維持・管理
 - ▶デジタルで森林づくりを総合支援
- スマート農業による棚田保全
- 雨水貯留・浸透型緑化システム
- 水災害トータルエンジニアリングサービス
- 成瀬ダムの建設
 - ▶自動化施工システムA⁴CSEL[®]で「現場の工場化」を実現
 - ▶低炭素型コンクリートECMコンクリート[®]を堤体へ本格導入
 - ▶受賞歴



認定番号：144 サポーター名：鹿島建設株式会社

- ▶実施内容の分類： (2) 流域治水に関する広報資料の配布・掲示、アナウンス等
 (3) 各種イベント、セミナー、学会、講座、研修等での紹介
 (4) 貯留施設の設置など自らの流域治水に資する取組

取組
実績

● グリーンインフラ産業展2026において、流域治水に関連する技術展示を実施

【紹介技術】（流域治水に関連する技術を抜粋）

- 鹿島グループの森林
適切な維持管理と新たな価値創出
- Forest Asset
森林の計測・経営支援サービス
- 建物緑化技術
都市のネイチャー・ポジティブ、
資源循環、流域治水に貢献
- 棚田を次世代へ継承する
地域と連携した保全活動を開始



自然を活かし、未来を築く
鹿島のネイチャーポジティブ

05 建物緑化技術
都市のネイチャー・ポジティブ、
資源循環、流域治水に貢献



● DEW-インゴーションは、気候変動にも最適な保水・浸透性を持つ土壌に変化する
ことで、暴雨時の雨水流出・下水への負荷を低減します。
● エバスターガーランドは、土壌下層に一時的な水量の上昇を2倍以上の貯留し
別冊することで、維持管理コストを低減します。
● 緑部マルチセルR17は、蓄積タンクに貯留した雨水・野積し、湧水に活用
することで、上水の依存度を低減します。

06 棚田を次世代へ継承する
地域と連携した保全活動を開始



● 新潟県十日町市の棚田において地域と連携しながらスマート農業の実証実験・導入
支援に取り組んでいます。
● 2025年に自然共生サイトに建設、カーボンクレジット（J-Cレジット）を創出しました。
● 2026年には第一回の取組が土木学会賞を受賞しました。今年も棚田の持続
可能な向上を目指すための研究を推進します。

流域治水オフィシャルサポーター



鹿島は、国土交通省「流域治水オフィシャルサポーター」に認定されています。
治水に関連するダムなどの土木構造物の施工を担うほか、森林管理の高効率化や、スマート農業技術を活用した棚田保全による雨水貯留機能の確保など、流域治水に資する様々な取組みを展開しています。

水循環ACTIVE企業



鹿島は、内閣官房「水循環企業登録・認証制度」において、「水循環ACTIVE企業」として認定されています。

認定内容：
 ・水源域における森林整備・保全（水量・水質カテゴリー）：全国49か所約5,500haの社有林における「100年先の森林をつなぐ」取組み
 ・自治体・活動団体への寄付・助成（人材・資金カテゴリー）：ユースフォーラムへの協賛

認定番号：144 サポーター名：鹿島建設株式会社

- ▶実施内容の分類：（2）流域治水に関する広報資料の配布・掲示、アナウンス等
（3）各種イベント、セミナー、学会、講座、研修等での紹介
（4）貯留施設の設置など自らの流域治水に資する取組

取組
実績

- [水未来会議2025](#)および[ユース水フォーラムアジア2025](#)において流域治水関連技術の資料配布

【紹介技術】

- 雨水貯留・浸透型緑化システム

